

OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)

contents

- 「第14回CALPISこどもの日
全国少年野球教室」開催報告 2
- 「第2回マルハンドリームカップ
全国草野球トーナメント」
開催情報 4
- 事務局より 6



©水島新司
全国野球振興会イメージキャラクター「9ちゃん」



vol. 38

気になる時が、はじめ時

カルピス酸乳
アミールS

毎朝
一本!



本品は高血圧症の予防および治療を目的としたものではありません。

食後の血糖値が
気になる方に。

健茶王

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。



カラダにピース
CALPIS



厚生労働省許可
特定保健用食品

プロ野球OBが 全国1万2000人の子どもたちを直接指導 第14回 CALPISこどもの日 全国少年野球教室 を開催しました

5月5日「こどもの日」に、本年も全国47都道府県48会場で少年野球教室を開催しました。本教室は、1995年から「100万人の子どもたちとキャッチボールを」をテーマとして掲げ、カルピス株式会社様、大和ハウス工業株式会社様の特別協賛を得て、北は北海道標津郡標津町から南は沖縄県宮古島市まで全国で12,134人の子どもたちが参加、359名のプロ野球OBが指導にあたりました。メイン会場である東京都大田区においては、小・中学生250名が参加し、理事長大沢啓二(元日本ハム監督)、ならびに森 徹(元中日)、村上雅則(元S.Fジャイアンツ)、松岡 弘(元ヤクルト)、石毛宏典(元西武)など経験豊富な講師陣が参加しました。

本教室が野球の技術を向上させるだけでなく、仲間とともに笑い、スポーツマンシップと、今年のサブテーマである「ありがとう」を伝える日」を実践し、学ぶことにより、将来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長する思い出の一日となることを私たちOB一同は心から願っています。また、本教室開催にあたり並々ならぬご尽力をいただきました協賛企業、関係機関の皆さまに深く感謝申し上げます。

●開催概要
開催期日 2008年5月5日(月・祝)
開催会場 全国47都道府県48会場
主催 社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)
後援 文部科学省
特別協賛 カルピス株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社オニザキコーポレーション、株式会社アルデプロ、株式会社フォーリーフ ジャパン、株式会社エス・アール・ピー、株式会社久保田運動具店、ミスノ株式会社、ゼット株式会社、ナガセケンコー株式会社
協力 社団法人日本野球機構、全日本アマチュア野球連盟、財団法人全日本軟式野球連盟、JSR日本スポーツ用品協同組合連合会、株式会社ベースボールマガジン社、BC(ベースボールチャンネル)グループ
参加者 対象：小学4年生～中学3年生
人数：全国で12,134人
参加費用 無料
派遣講師 社団法人全国野球振興会会員のプロ野球出身者(選手、審判、トレーナー他)
人数：全国で359人
趣 旨 「100万人とキャッチボールを～“ありがとう”を伝える日～」をテーマとし、将来を担う子どもたちに野球の魅力や楽しさを伝えるとともに心の触れ合いができる場所を提供することにより、野球界の底辺拡大、野球を通じたスポーツの普及・振興及び青少年の健全育成を目指す
内 容 少年少女への技術指導及び指導者・保護者との交流



石毛講師の話に聞き入ります(東京都大田区)

マリコの「こどもの日」一日レポート!
～「ありがとう」を伝えよう～
総務部 / 石邊真理子

メイン会場の大田スタジアムは心配された雨もばらつく程度。子どもたちと講師の想いが雨雲を押し止めたかのようにした。当会理事長大沢より「野球を通じて感謝の気持ちを伝えよう」と開会の挨拶があり、野球教室がスタート!石毛講師が「チームのみんながやるから自分もやるとか、みんながやらないから自分もやらないという考えは捨て、自発的に練習する一日にしよう」と野球への向き合い方について説くと、球児たちは大きな声で「はい!」と応えてくれました。3時間はあっという間に過ぎ、閉会式にて子どもたちを代表して「監督、コーチ、お父さん、お母さん、ありがとうございます」とお礼の言葉が述べられ、野球教室は幕を閉じました。今回の野球教室をきっかけに子どもたちが何事にも感謝の気持ちをもって取り組むとともに、プロ野球OBと一緒に汗を流した「こどもの日野球教室」が子どもたちの健やかな成長につながることを願っています。

開催地の声



●**神奈川県茅ヶ崎市**
子どもたちも保護者も憧れの元プロ野球選手と交流ができ、感動とともにそれぞれの夢や憧れを増幅させたのではないかと推察します。指導者にはトレーナーの方より肩・肘のメンテナンスを教えていただきました。とても有意義なお話でした。

●**大阪府摂津市**
天気予報は曇りのち雨で、準備ができた頃には雨がパラパラと降り出し不安になりましたが、開会式が始まると雨もやみ無事プレーボール!講師のみなさまの熱心な指導に、子どもたちにも心・技・体が伝わり非常に有効な1日を得ることができました。また、トレーナー・管理栄養士の講師も来ていただき保護者からも熱心な質問が飛び交いました。本当にありがとうございました。

●**新潟県新潟市**
「大きくなったらプロ野球選手になりたい」…終了後子どもたちが瞳を輝かせて話している姿を見て、この教室の意義を改めて感じました。これからの新潟の野球少年たちに夢とファイトを与えてくれる機会を是非お願いします。

●**香川県仲多度郡まんのう町**
講師の方々に熱心なご指導をいただき、アツという間に予定された時間が過ぎました。改めて「基本」の重要さが分かり、参加した子どもたちもまた目を輝かせながら貴重な体験をすることができました。今後の指導に大変参考になりました。

●**奈良県磯城郡三宅町**
野球の頂点を極められたOBのみなさんが必死に取り組む姿が印象的で再度夢と希望を与えていただき、とても意義のある1日でした。

参加講師の声



●**北海道標津郡標津町**
初めて参加させていただき、プロ野球選手になる夢を抱いて目をキラキラ輝かせている子どもたちと触れ合い、自分の少年時代を思い出して初心に帰る思いがしました。また、諸先輩方とも出会い、色々なお話を聞かせていただき、実り多い貴重な二日間でした。また機会があればぜひ参加させていただきます。

●**岩手県一関市**
初めに参加させていただき、キラキラとした瞳を見て、初めての参加でしたがこの子どもたちがいつまでも野球が楽しくできるよう、子どもたちに「野球は楽しいんだ」ということをもっと伝えていかなければと感じました。

●**宮崎県小林市**
子どもたちの喜々とした顔、キラキラとした瞳を見て、初めての参加でしたがこの子どもたちがいつまでも野球が楽しくできるよう、子どもたちに「野球は楽しいんだ」ということをもっと伝えていかなければと感じました。

●**沖縄県宮古島市**
投手へのボールの握り方・投球フォーム・クイック投球等を指導。それと打撃指導を行いました。宮古島出身の私にとっては、「宮古島から一人でも多くのプロ野球選手が出てほしい」と願いながら指導させていただきました。これからも将来を担う子どもたちに野球の魅力や楽しさを伝えていきたいと思っています。

第14回 CALPIS こどもの日全国少年野球教室 参加講師(OB)一覧

都道府県	市町村	参加講師
北海道	標津郡 標津町	田原藤太郎、吉井 修、有沢賢持、岡田展和、面出哲志、工藤正明、西島貴之、山田博一
青森県	西津軽郡 鯉ヶ沢町	三橋豊夫、池谷公二郎、西尾 亨、石村賢二郎
岩手県	一関市	吉田克郎、島源太郎、泉澤 彰、佐々木剛、金沢幸彦、千藤三樹男、石井雅博、大里晴信
秋田県	南秋田郡 八郎潟町	近藤幸造、村田展英、山内英雄、村岡耕一、小西秀朗
宮城県	宮城郡 松島町	若生智男、小野木孝、佐藤文彦、小石澤浄孝、倉橋孝治、大久保美智男、佐藤 洋、鈴木征夫
山形県	新庄市	保坂英二、滝口光則、堀場秀孝、上田武司、萩原康弘
福島県	須賀川市	鈴木 隆、森田 斌、遠藤一彦、辻 恭彦、庄司智久、伊藤博康、佐藤清次
茨城県	土浦市	浅野啓司、河瀬雅英、根本 学、日野 茂、江尻 亮、小松崎善久
栃木県	大田市	五月女豊、大川 章、渡辺富夫、坪井新三郎、蓬萊昭彦、中野佐資、鈴木康博
群馬県	みどり市	三枝道夫、種部信康、高橋 清、杉山直樹、山口慶一、黒崎 武
埼玉県	春日部市	小坂敏彦、高木宜宏、原口哲也、藤野正剛、谷松浩之、古川慎一、熊原 隼
東京都	[東]江東区	土橋正幸、安原達佳、渡辺孝博、麗藤猛男、宮川一彦、島田雄二、長崎慶一、齋田忠利、田中俊幸、佐伯 勉
東京都	[西]大田区	村上雅則、高橋一三、松岡 弘、浜河 弘、川和正、石毛宏典、大沢啓二、森 徹、西田孝之、富澤宏敏、青島健太、篠宮慎一
千葉県	市原市	北川芳男、城之内邦雄、寺沢高栄、森 宝生、福澤洋一、丹波健二、雨宮時高、高橋都雄
神奈川県	茅ヶ崎市	福川 誠、吉井 晃、川俣浩明、青木 輝、福嶋久晃、坂巻 豊、江藤省三、大石慈朗、藤本祥男、井坂 興、中塚政幸、岡田 功、大谷幸弘、武野顕吾
山梨県	山梨市	深澤忠雄、石川 賢、内藤尚行、前田益穂、四條 稔、望月 勝、内藤 久
長野県	上伊那郡 辰野町	秋本北作、吉澤 勝、吉江喜一、桃井 進、大島郁将、川島正幸、征矢高行、町田行彦、松本元明
新潟県	新潟市	大滝信孝、関本四十四、藤城和明、種茂雅之、土屋弘光、広野 功、屋崎 要
静岡県	静岡市	伊藤芳明、田所善治郎、水野達郎、島野雅直、鈴木 望、植松精一、庄司大介、鈴木章介
愛知県	名古屋市	河村保彦、稲葉光雄、木保達彦、高木守道、岩本好広、北村俊介、中 利夫、北正弘昭、藤波行雄、山口正博、都 由紀
岐阜県	大垣市	全田昭広、北村哲治、田中重生、岡田忠雄、渡野淳基、前原博之、高橋 智
三重県	三重郡 菟町	伊藤四郎、中村 稔、水谷茂雄、藤尾 茂、三宅秀史、谷本征一、武藤忠男、橋本匡博、森田通泰
富山県	砺波市	横田久則、干場泰永、小牧雄一、鈴木康友、清水宏悦
石川県	加賀市	小野和幸、入生比左男、河村健一、相川 進、中村良二
福井県	南条郡 南越前町	淡谷武雄、川藤龍之輔、兼善寿好、長岡久夫、津中祥和、川藤幸三
滋賀県	蒲生郡 竜王町	西川克弘、山本和行、田 徹、樋口一紀、松岡洋次
京都府	相楽郡 精華町	大門和彦、小林 宏、今泉幸雄、児玉弘義、吉田義男、坂部浩一、中川照順、寺本 勇
奈良県	磯城郡 三宅町	山田幸男、黒田 勉、福井保夫、元田昌義、高木 喬、佐藤正治、栗橋 茂、大垣幸三
和歌山県	海南市	大石 清、木村竹志、若田 徹、井上益一、得津高宏
大阪府	摂津市	大崎三男、尾崎行雄、水谷 宏、柴田佳主也、橋本 清、米谷延夫、大原徹也、伊香輝男、森野 謙、坂口慶三郎、谷村友一、中山 力、長島裕二、坂元美子
兵庫県	明石市	北畑利雄、西尾慈高、宮本幸信、芝池博明、久代義明、岡田幸喜、鎌田 実、一枝修平、大熊忠義、山田 勉、山本文男、福井 宏、松元隆司、中山慎一
鳥取県	鳥取市	米田哲也、黒坂幸夫、野口裕美、益田 貴村、村上真一、小川 亨

都道府県	市町村	参加講師
鳥取県	出雲市	福岡 航、三沢 淳、藤本貴久、石橋 貴真、真善正和
岡山県	倉敷市	金村勝利、西山 毅、山根和夫、土井 淳、山地 隆、中藤義雄、加納賢一
広島県	東広島市	中本富士雄、中村光良、高橋里志、山内和宏、渡本龍治、藤井 弘、長内 孝、榊原総一郎
山口県	阿武郡 阿東町	渡辺弘基、小川敦美、小川達明、山本一義、山本寿之
香川県	仲多度郡 まんのう町	田中 訓、渋谷幸春、井原慎一、東山親雄、土井正博、迫久公雄
徳島県	鳴門市	白石静生、江本晃一、松村高明、衣川幸夫、森山一人、長池徳士
高知県	高知市	酒井幸久、津野 淳、浜村 孝、岡 幸俊
愛媛県	東温市	古賀正明、石井 裕、鈴木伸良、千田啓介、西本明和、重松省三
福岡県	鞍手郡 鞍手町	坂上 惇、渡邊泰輔、三浦政基、太田勝正、阿部一、香川伸行、城戸則文、基 満男、市場孝之、出口雄大、突田尚男
佐賀県	神埼郡 吉野ヶ里町	岡本健治、今井雄太郎、池田親興、若菜嘉晴、太田浩喜、永沼洋三、吉永幸一、川
長崎県	長崎市	杉野 政、増本 宏、長田博幸、平川洋幸、藤本博史、池邊 辰
熊本県	熊本市	川本智徳、村上良次、若田一彦、松崎秀昭、米村和樹、山本哲也、今井謙二、柳田真宏、河野安彦
大分県	豊後高田市	安部和春、安藤 功、高橋直樹、小川邦和、中村昭昭、安藤隆二、二村忠美
宮崎県	小林市	入江 淳、永射 保、樋口敏英、岩岡保宏、片岡光宏、本村信吾
鹿児島県	鹿児島市	鶴狩道夫、中原 勇、大畑 徹、内藤直樹、殿島康夫、斎藤 巧、安田泰一、横田貞之
沖縄県	宮古島市	大石弥太郎、久保文彦、平良幸一、森長 隆、新里紹也、吉田好太、山本和範

※ポジション毎に年齢層で掲載。
※見学・手伝いで参加者は掲載しておりません。

各地の表情

一緒に野球に向き合った「こどもの日」。各地でいい表情に出会うことができました。流した汗と笑顔は最高の思い出です。



開会式で、代表幹事の五月女豊講師(元大洋)からカルピスウォーター、オニザキのすりごま、ベースボールカードの記念品が贈呈されました。(栃木県大田原市)



日野 茂講師(元西武)から直接ボールの握り方を教わります。ちょっと照れくさそうだけど、しっかり覚えてね!(茨城県土浦市)



島田雄二講師(元巨人)がバッティングのお手本を披露!見つめる子どもたちの眼差しは真剣そのもの。(東京都江東区)



受講した子どもたちを代表して挨拶。監督や保護者の方々、チームメイトへの感謝の気持ちをこれからも忘れずにね!(東京都江東区)



土井正博講師(元西武)とバットを使って打撃フォームを勉強します。よく見ると二人のユニフォームもついで(香川県仲多度郡まんのう町)



山本一義講師(元広島)から一対一の打撃特訓!上達するためには今日の教えを忘れずに。(山口県阿武郡阿東町)



みんなで一列に並んでランニング。石井裕講師(元ロッテ)を先頭に走れば普段は辛いランニングでも笑顔が溢れます。(愛媛県東温市)

第2回マルハンドリームカップ 全国草野球トーナメント開幕!!

1,032チームの
頂点目指せ!

当会では、昨年株式会社マルハン様の特別協賛を得て、国内すべての軟式野球チーム*を対象とした全国大会「マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント」を開催しましたが、本年も引き続き株式会社マルハン様のお力添えのもと、第2回大会の開催が決定しました。

本大会は全国8地区で予選を行い、勝ち抜いた8チームで全国大会を行います。全国大会決勝戦は東京ドームで開催し、見事日本一となったチームはプロ野球OBによるドリームチームへの挑戦権を獲得します。なお、第1回大会にて北海道代表の神出設計の前に惜敗したドリームチームは監督が土橋正幸(元東映)から柴田 勲(元巨人)にバトンタッチ。新生チームで雪辱に燃えるドリームチームが並みいる強豪の中から勝ち上がった優勝チームに立ち向かいます。

各地区の予選大会は6月上旬より本格スタート(一部地区にて先行スタート)しており、各地区で熱戦が繰り広げられています。試合スケジュールおよび結果は、随時大会公式サイトにて更新中です。全国の草野球愛好者の熱き戦いをお見逃しなく!

記者発表会●二代目草野球日本一への期待が高まります



ドリームチームも出席 記者発表会

5月26日、東京ドームホテルにて「第2回マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント」の記者発表会を行いました。発表会には大会会長 鈴木 嘉和(株式会社マルハン代表取締役社長)、大会副会長 韓 裕(株式会社マルハン代表取締役副社長)、実行委員会委員長 大沢 啓二、副委員長 高津 義信(株式会社アスリートジャパン代表取締役)、広報委員長 佐々木信也、ドリームチーム監督 柴田 勲(元巨人)、選手の佐藤 義則(元オリックス)、本西 厚博(元オリックス)が出席し、司会を青島 健太(元ヤクルト)が務め、行われました。会場には100名近くの報道陣が駆けつけ、盛大なものとなりました。

野球界のさらなる発展と底辺拡大を目的とした本大会に昨年は多くの草野球愛好者の方々にご参加いただきました。今年も多くの草野球チームが野球にける強く、そして熱い想いを本大会にぶつけてくることと思います。本大会のみならず野球界全体が明るくなるような大会となることを期待しています。

第2回マルハンドリームカップ 全国草野球トーナメント 概要

名称	第2回マルハンドリームカップ 全国草野球トーナメント
開催期日	2008年6月～12月 ※日程は変更になる場合がございます。詳しくは下記大会公式サイトをご覧ください
①都道府県代表決定予選	6月7日(土)～9月7日(日)
②地区代表決勝戦	9月13日(土)～11月9日(日) (全国8地区/北海道、東北、関東、上信越・北陸、東海、関西、中国・四国、九州・沖縄)
③全国大会決勝	11月24日(月・祝) ※東京ドームにて開催
参加対象	国内すべての軟式野球チーム* ※特定の野球連盟、団体に加盟しているチームであっても参加資格があります。ただし、財団法人日本野球連盟、財団法人全日本大学野球連盟、財団法人日本高等学校野球連盟に加盟している選手は該当しません。
主催	第2回マルハンドリームカップ 全国草野球トーナメント実行委員会
特別協賛	株式会社マルハン
協賛	ナガセケンコー株式会社、ミズノ株式会社、キリンビバレッジ株式会社
後援	財団法人全日本軟式野球連盟、全日本早起き野球協会、株式会社ベースボール・マガジン社、JSR日本スポーツ用品協同組合連合会、株式会社マスターズリーグ、日刊スポーツ新聞社
主管	(社)全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)
企画	株式会社アスリートジャパン

マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント事務局
(社)全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)内
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-11-1 平河町コンステートビル2階
E-mail info@dreamcup.com
大会公式サイト▶▶▶ <http://www.dreamcup.jp>



抽選会●各地で抽選会が開かれます。(大阪)

地区予選●全国に先駆けて幕を開けた兵庫県(前期)予選

平成20年度 第1回総会開催 古葉竹識理事辞任のお知らせ

平成20年3月11日開催の「平成20年度 第1回総会」において、下記の議案について全会一致で承されましたのでご報告申し上げます。

また、当会常務理事・古葉竹識より、東京国際大学硬式野球部の監督就任に伴い、2月23日をもって理事の辞任について申し出があり、同日行われた第1回理事会にてこれを了承し、総会にて報告いたしました。古葉様におかれましては長きに渡って野球振興・普及および底辺拡大のためにご尽力いただき、当会のみならず野球界全体にその功績を残されました。ここに、これまでいただいた多大なるお力添えに深謝申し上げます。古葉様にはアマチュア球界との掛け橋として、また、大学球界のさらなる活性化のため、ご活躍をお祈り申し上げます。

平成20年度 第1回総会

- 日時：平成20年3月11日(火)
- 会場：ホテルルポール麹町 3階「マープル」
(東京都千代田区平河町2-4-3)
- 出席社員：921名

議決事項

《議案第1号》
平成19年度事業報告及び収支決算に関する件について全会一致で了承
※「平成19年度収支報告」については、右記の「平成19年度収支計算書 総括表」をご参照下さい。
※詳細は当会公式サイトにて公開しています。
www.obclub.or.jp

プロ野球独立リーグ開幕!

日本の2つの独立リーグが開幕しました。4年目の幕を開けた四国・九州アイランドリーグでは、4/5に徳島インディゴソックスと愛媛マンダリンパイレーツの開幕戦が徳島アグリあなんスタジアムにて行われ、当会理事長大沢啓二が始球式を務めました。また、今年から新たに群馬ダイヤモンドベガサス(秦 真司監督)と福井ミラクルエレファント(藤田 平監督)の2チームが加わり、6チームで2年目の開幕を向かえたBCリーグは、4/19に群馬県立敷島公園野球場にて行われた群馬ダイヤモンドベガサスと信濃グランセローズの開幕戦にて大沢が始球式を務め、また、同日福井県敦賀市総合運動公園野球場にて行われた福井ミラクルエレファントと新潟アルビレックス・ベースボール・クラブの開幕戦には当会会員江夏豊氏(元阪神)が始球式を行いました。独立リーグの、「夢を追いそして夢を現実のものとする力」を当会は今後も応援してまいります。



上/四国・九州アイランドリーグ開幕戦の解説風景
右/群馬県大澤正明知事と「W大澤」による始球式
下/元同僚の福井ミラクルエレファントの藤田監督の応援に駆けつけた江夏氏

写真提供/福井ミラクルエレファント

平成19年度 収支計算書総括表(単位:円)

項目	H19年度 合計	前年度 合計	収支事業会計
1.基本財産運用収入	45,393	45,393	45,393
基本財産利息	45,393	45,393	45,393
収入	18,640,000	18,640,000	
2.会費収入	10,540,000	10,540,000	
OB会費	8,100,000	8,100,000	
賛助会費	2,440,000	2,440,000	
3.事業収入	22,248,194	22,248,194	
こどもの日全国少年野球教室	13,020,000	13,020,000	
全国アマチュア野球指導者講習会	3,090,000	3,090,000	
全日本野球会議	1,081,400	1,081,400	
野球指導者養成・認定事業	0	0	
日本高等学校野球連盟関係事業	1,178,934	1,178,934	
青少年健全育成事業	0	0	
野球振興普及事業	3,877,860	3,877,860	
調査研究事業	0	0	
4.収益事業収入	216,146,100	216,146,100	
各種少年野球教室	7,664,922	7,664,922	
講演会	5,673,020	5,673,020	
マスターズリーグ	9,500,000	9,500,000	
スポーツフェア	85,328,895	85,328,895	
OBオールスターゲーム	0	0	
肖像権使用事業	15,947,963	15,947,963	
物品販売	441,700	441,700	
広告宣伝	8,400,000	8,400,000	
草野球大会	83,189,600	83,189,600	
5.寄付金収入	10,000,000	10,000,000	0
6.補助金	32,917,540	32,917,540	
文部科学省	2,917,540	2,917,540	
(社)日本野球機構	10,000,000	10,000,000	
(財)日本宝くじ協会	20,000,000	20,000,000	
富川スポーツ財団	0	0	
7.雑収入	1,172,332	1,110,802	61,530
8.雑収入	17,842,794	3,750,139	14,092,655
当期収入合計(A)	319,012,353	88,712,068	230,300,285
9.雑収入	37,480,749	7,699,202	29,781,547
前期繰越収支差額	356,493,102	96,411,270	260,081,832
収入合計(B)			
支出	H19年度 合計	前年度 合計	収支事業会計
1.事業費	60,702,795	60,702,795	
こどもの日全国少年野球教室	16,830,765	16,830,765	
全国アマチュア野球指導者講習会	6,116,011	6,116,011	
全日本野球会議	1,745,955	1,745,955	
野球指導者養成・認定事業	15,144	15,144	
日本高等学校野球連盟関係事業	2,022,001	2,022,001	
青少年健全育成事業	21,076,801	21,076,801	
野球振興普及事業	8,852,506	8,852,506	
調査研究事業	139,884	139,884	
アマチュア野球選手・指導者強化育成	3,903,728	3,903,728	
庶務費	0	0	
2.収益事業費	144,626,616	144,626,616	
各種少年野球教室	5,984,317	5,984,317	
講演会	4,731,790	4,731,790	
マスターズリーグ	933,110	933,110	
スポーツフェア	47,583,822	47,583,822	
OBオールスターゲーム	1,040	1,040	
肖像権使用事業	16,718,236	16,718,236	
物品販売	2,000	2,000	
広告宣伝	963,453	963,453	
草野球大会	82,755,258	82,755,258	
3.管理費	80,674,873	20,963,142	59,711,731
人件費	44,102,658	11,466,692	32,635,966
宿泊・交通費	5,636,682	1,465,537	4,171,145
消耗・備品費	1,976,554	509,863	1,466,691
通信運搬費	3,194,710	823,431	2,371,279
保険料	777,700	292,932	575,468
支払手数料	1,853,593	480,842	1,372,751
印刷製本費	4,541,409	1,180,766	3,360,643
租税公課	2,838,100	737,906	2,100,194
会議費	1,747,944	454,465	1,293,479
広告宣伝費	386,275	100,432	285,843
接待交際費	1,523,868	396,206	1,127,662
報酬手当	2,607,150	677,859	1,929,291
賃借料	662,533	172,259	490,274
前期繰越費	150,075	39,020	111,055
地代家賃	7,495,488	1,948,827	5,546,661
水道光熱費	614,627	159,803	454,824
雑費	165,500	43,030	122,470
減価償却費	265,372	68,997	196,375
寄付金支出	50,000	13,000	37,000
4.過去分派繰給付費用	3,246,816	844,172	2,402,644
5.固定資産取得支出	0	0	0
6.固定資産売却	45,393	45,393	0
7.法人税住民税等	5,716,500	0	5,716,500
8.資金繰り外収支差額	▲2,877,247	▲2,877,247	0
9.繰入金支出	17,842,794	14,092,655	3,750,139
10.予備費	0	0	0
当期支出合計(C)	309,978,540	93,770,910	216,207,630
当期収支差額(A)-(C)	9,033,813	▲5,058,842	14,092,655
次期繰越収支差額(B)-(C)	46,514,562	2,640,360	43,874,202

注1/借入金限度額0円 注2/債務負担額0円

いつも『OB NEWS』をご愛読いただきありがとうございます。「こどもの日野球教室」も無事終了し、「マルハンドリームカップ全国草野球トーナメント」の各地区予選大会が本格スタートしました。休日には各地の予選を観戦してみたいかでしょうか？大人の“甲子園”が、高校時代のひたむきさや熱く強い気持ちを思い出させてくれるかもしれません。

2008年 4月～6月活動報告

■ 各種講演会・野球教室

日程	名称	会場	講師
4月 4日(金)	野球のまち阿南推進協議会総会講演・懇親会(講演会)	阿南ロイヤルガーデンホテル(徳島県阿南市)	大沢啓二
4月 5日(土)	第20回桜橋花まつり少年少女野球教室	隅田公園内(東京都台東区)	駒田徳広、大塚光二、内藤尚行
4月 21日(月)	トークショー「スポーツビジネスの舞台裏」(講演会)	ヒルトン名古屋(愛知県名古屋市)	佐々木信也、田尾安志
5月 11日(日)	ドリームステーション(野球教室)	太田市北部運動公園(群馬県太田市)	後藤孝志
5月 19日(月)	内外情勢調査会石川支部懇談会(講演会)	金沢都ホテル(石川県金沢市)	山田久志
5月 25日(日)	阿南町少年少女野球教室	新野グラウンド(長野県阿南町)	前田益穂、遠藤一彦
6月 22日(日)	トップアスリート派遣指導事業(野球教室)	神石高原町三和野球場(広島県神石高原町)	木下富雄

■ その他の活動

日程	名称	会場	講師
5月 15日(木)	宮城県大和町立宮床中学校「この人に会いたい」(職場訪問)	本部事務局(東京都千代田区)	上田浩明
5月 22日(木)	株式会社セガ「プロ野球チームをつくろう!ONLINE」プロモーション協力取材	株式会社セガ本社(東京都大田区)	高橋 智
6月 18日(水)	株式会社セガ「プロ野球チームをつくろう!ONLINE」プロモーション協力取材	株式会社セガ本社()	佐野慈紀
6月 23日(月)	株式会社セガ「プロ野球チームをつくろう!ONLINE」プロモーション協力取材	株式会社セガ本社()	内藤尚行
6月 27日(金)	株式会社セガ「プロ野球チームをつくろう!ONLINE」プロモーション協力取材	株式会社セガ本社()	屋鋪 要

■ 各種会議

日程	名称	会場	講師
4月 8日(火)	第1回推進部会	本部事務局	江藤省三、辻 恭彦、齋田忠利、島田雄二、島田源太郎、井坂 興、堀場秀孝
4月 25日(金)	第2回推進部会	本部事務局	江藤省三、辻 恭彦、齋田忠利、島田雄二、島田源太郎、井坂 興、高橋一三、松岡 弘、堀場秀孝
4月 28日(月)	第4回近畿ブロック会議	ホテル栄(大阪府大阪市)	鶴岡秀樹、一枝修平、谷村友一、伊香輝男、黒田 勉、西川克弘、和田 徹、小川 亨、芝池博明、福岡 納、木村竹志、長島裕二
5月 30日(金)	第5回近畿ブロック会議	ホテル栄()	岡本伊三美、一枝修平、谷村友一、伊香輝男、黒田 勉、西川克弘、和田 徹、小川 亨、芝池博明、木村竹志、大門和彦
6月 5日(木)	第1回年金委員会	本部事務局	佐々木信也、村上雅則、島田源太郎、得津高広
6月 5日(木)	第1回関東ブロック会議	本部事務局	森 徹、佐々木信也、村上雅則、種部信康、松岡 弘、坂巻 豊、五月女 豊、内藤 久、根本 学、矢作一
6月 21日(土)	第1回九州ブロック会議	デュークスホテル博多(福岡県福岡市)	森 徹、八浪知行、鶴岡道夫、杉町 攻、中村国昭、三浦政基、片岡光宏、森長 隆

OB会員の皆さまへ 2008年度 会費のご納入について

いつも当会の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。年会費の自動引き落としをご登録の会員の皆さまには、2008年度の年会費を4月7日(月)に引き落としさせていただきました。お力添えを賜りまして誠にありがとうございました。

なお、自動引き落とし以外でのお納めをご希望の方は、今号に同封いたしております資料をご高覧下さいませようお願いいたします。当会は、会員様一人一人のお力添えによって運営されております。会費のご納入にどうぞご協力下さいますようお願い申し上げます。

皆さまより頂戴いたしました会費は、野球振興のため、有効に活用させていただきます。

賛助会員募集のご案内

～私たちと野球振興に取り組みませんか～

社団法人全国野球振興会では、プロ野球OBが行っているさまざまな野球振興活動をサポートしていただくために、皆さまのご支援をお願いしております。

◎ 賛助会費 1口10,000円/年間

◎ 会員特典

- ・ 会員証の発行
- ・ 会報誌「OB NEWS」のご案内
- ・ チャリティーゴルフコンペのご案内
- ・ 懇親会「感謝の集い」のご案内
- ・ 当会関係イベントのご招待・ご案内 他

詳しい資料をご希望の方、またご入会希望の方は下記本部事務局までお電話もしくはE-mailにてご連絡下さい。なお、当会オフィシャルサイトでも受付しております。



2006年に行われた「和歌山ファンとの集い」の様子



Daiwa House®

大和ハウスグループ

大和ハウスグループは、

グループシンボル「ENDLESS HEART」に

お客様と私たちの永遠の絆と、私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

私たちは世の中にハートを提供してまいります。

共に創る。共に生きる。

We Build Hearts

新入会員一覧

氏名	代表出身球団	ポジション
垣内 哲也	ロッテ	外野手
若松 勉	ヤクルト	外野手
森山 一人	ダイエー	外野手
下田 充利	日本ハム	捕手
伊藤 博之	広島	投手
平良 幸一	西武	投手
副島 孔太	ヤクルト	外野手

2008年3月以降入会

氏名	代表出身球団	ポジション
和田 孝志	ロッテ	投手
渡邊 孝男	日本ハム	捕手
平岡 政樹	巨人	投手
黒岩 裕次	西武	トレーナー

訃報 慎んでお悔やみ申し上げます

氏名	代表出身球団	逝去日	享年	生年
奥田 敏輝	阪神	2006年9月14日	57歳	1949年
瀬野 浄	国鉄	2008年2月17日	73歳	1934年
森中 千香良	南海	2008年4月14日	68歳	1939年
橋本 敬包	南海	2007年4月23日	70歳	1936年
木下 強三	広島	2008年6月9日	71歳	1936年
樺 信平	阪神	2008年6月10日	83歳	1924年

発行・編集人



社団法人全国野球振興会 (日本プロ野球OBクラブ)
URL : www.obclub.or.jp E-mail : info@obclub.or.jp

本部事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-11-1 平河町ロンステートビル2階
TEL : 03-3238-2900 / 3238-2893 FAX : 03-3238-2901

[事務局より] 住所変更の際は、お手数ですが上記事務局までお知らせ下さい。 編集協力：株式会社ナノ・アソシエーション 発行日：2008年6月

大和ハウス工業株式会社
www.daiwahouse.co.jp

通信販売限定商品

http://www.gomagona.net/

オニザキの すりごま

薫

Kaori

焙煎

baisen

煎
【しろ】



すりごまを変えるこの薫。
お伝えできないのが
残念です。

数量限定

ocs オニザキコーポレーションセルス

〒862-0951 熊本市上水前寺1-6-41 OCOビルディング

●ご注文・お問合せは

お電話 サンジュウマルのゴマゴマ
0120-30-5050

受付時間 / 【平日】9時～20時 【土日祝】9時～17時30分